



風と緑と太陽



「間違えてもいいんだよ、その後が大事」

校長 野田 恵美

新年度がスタートしてから3週間がたちました。子供たちは、元気に毎日を過ごしています。

城山小学校では、授業づくりの柱として「ふり返り」を大切にしようという取組をしています。「ふり返り」には、その授業のまとめや感想だけではなく、学んだことを次にどう生かすか、または次の時間にどんなことをしたいか、なども含まれます。学年や教科によっては、自分でその時間の目標を立てるときもあります。

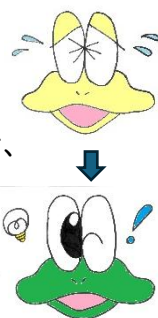
昨年度、授業の中で考える場面や振り返る場面になると「ふりカエル君」や「かんガエル君」が登場していたクラスがありました。校内をまわっていると、あるクラスから声をかけられ「校長先生、『まちガエル君』もつくってください!」とリクエストがありました。「どうして?」とたずねると「あのね、教室では間違えてもいいんだよ、間違えてもね、また考えればいいんだよ」という返事がかえってきました。複数の子供たちがそれぞれ一生懸命に説明してくれたので、きっと、いつも担任の先生が「間違えてから」を大事にして授業をしているのだな、と感じました。

では早速…と「まちガエル君」をデザインしました。眉毛が下がった残念顔です。でも間違えても諦めずに、みんなでそれを解決したらにこにこ顔にできるようにひっくり返しても同じ形になるようにしました。

今年度になって、またあるクラスで「間違えてもいいんだよ、できないと落ち込まなくていいんだよ」と子供たちになげかけ、授業で考えさせている先生がいました。

これまで遠足(行事)として取っていた時間を校外学習(教科学習)として地域探検に出かけたり、学級活動で学年レクリエーションを行ったりしていますが、ある学年はみんなが気持ちよく活動するためにはどうしたらよいかを考えさせている場面がありました。

だれだって初めから間違えたり失敗したりは嫌だなと思ってしまいます。今の子供たちはとても慎重で、失敗を恐れるあまり、チャレンジせずに過ぎてしまうことも往々にしてあります。私は小学生の今だからこそ、いろいろなことにチャレンジしてほしいと願っています。間違えても大丈夫なのだ、と思えるクラスは意見が活発に交わされ、アイデアも豊富で、視野が広い子が育ちます。雰囲気は一人ががんばるのではなく、みんなで作るものです。教室でも職員室でも、「今こんなことで困っているのだ、できないのだけどどうしたらよいか」と素直に言える雰囲気が広がると良いなと思います。



■ お願いとお知らせ ■

※ すでに気温や湿度の高い日があります。また子供たちは体育の授業や休み時間に元気いっぱい体を動かしています。こまめに水分補給をするよう指導していますので、大きめの水筒にする、ペットボトルを複数にするなど、十分な量の水分を持たせていただきますようお願いいたします。

熱中症予防にはしっかりと睡眠をとることも大切です。ご家庭でも声かけをお願いします。

※ お子さんの習い事等のお迎えのため、下校時刻に路上駐車をされる場面がみられます。安全確保と近隣への迷惑防止のため、学校周辺の路上駐車はご遠慮くださいますようお願いいたします。

★ 今年度、PTA 総会の要項の最終ページに城山小学校基本ガイドを添付しました。ぜひご活用ください。

